



エコアクション21 環境経営レポート

対象期間：2023.9月～2024.8月



小高い丘の上にある杉板壁の家 Y様邸 施工

発行年月日 2024年9月30日



株式会社 公文建設

— 目 次 —

1. 組織の概要		2
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日		3
3. 環境経営方針		
基本理念・基本方針		4
3-1. SDG s 未来への約束		5
3-2.SDG s の取り組み		6
4. 環境管理組織体制		7
5. 環境経営目標		8・8-1
6. 環境経営計画		9
7. 環境経営目標の実績		
(1) 本年度実績		10
(2) 実績の推移・過去の実績		11
8. 環境経営計画の取組結果とその評価		12
9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画		13
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無		14
11. 代表者による全体評価と見直し・指示		15

発行日：2024年9月30日

発行責任者：環境管理責任者 公文 伸也

次回発行予定：2025年9月 頃

1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社 公文建設

【代表者氏名】 代表取締役 公文 伸也

【所在地】

本 社 〒784-0042
高知県安芸市土居1690番地1

資材置場・倉庫 高知県安芸市川北甲1969番地1

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 代表取締役 公文 伸也
連絡先担当者 総 務 公文 愛
連絡先 TEL : 0887-34-3312
FAX : 0887-34-3070
E-mail kumon-ak@ace.ocn.ne.jp

【事業活動の内容】

・ 建設業（主に建築工事）

建設業の種類	建設業許可	許可年月日	許可番号
建 築 工 事 業	高知県知事	令和 4 年 2月15日	特- 3第4853号
土 木 工 事 業	高知県知事	令和 4 年 2月15日	特- 3第4853号
とび・土工工事業	高知県知事	令和 4 年 2月15日	特- 3第4853号
水道施設工事業	高知県知事	令和 4 年 2月15日	特- 3第4853号
解 体 工 事 業	高知県知事	令和 4 年 2月15日	特- 3第4853号

・ 建築士事務所

事務所の種類	建設業許可	許可年月日	許可番号
一級建築士事務	高知県知事	令和 2 年 8 月 5 日	第1255号

【事業規模】

設 立 年 月 日	昭和42年10月30日	
資 本 金	20百万円	
活 動 規 模		単位
売 上 高	35.26	千万円
従 業 員	15	人
事 務 所 床 面 積	233.8	m ²
倉 庫 床 面 積	267.7	m ²
資 機 材 置 場 面 積	1,252.3	m ²
工場・作業所等床面積	506.4	m ²
会 計 年 度	9 月 ～ 8 月	

2 . 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

株式会社 公文建設 全社

本 社 〒784－0042 高知県安芸市土居 1 6 9 0 番地 1
資材置場・倉庫 高知県安芸市川北甲 1 9 6 9 番地 1

対象事業 建設業（建築工事業、土木工事業、とび・土工工事業、
 水道施設工事業、解体工事業）
 一級建築士事務所

【レポートの対象期間】

2023年 9月～2024年 8月

【環境経営レポートの発行日】

2024年9月30日

【作成責任者】

環境管理責任者

公文 伸也

3. 環境経営方針

《基本理念》

私たちは、「人と環境に優しい住まいづくり」の基本理念のもと、建設会社として環境に与える役割と影響を常に認識し、人々の豊かな暮らしと高知の豊かな自然との共存を目指します。

そのために、社員一人々が生物多様性の理念を理解し取り組むため、個々の技術の向上と知識の習熟に努め、これからの時代のニーズに沿った環境に配慮した事業活動の継続に邁進していきます。

＜基本方針＞

1. 環境配慮型建設工事の推進

自然エネルギーを活用した仕組みの提案

2. 地球温暖化防止への対応

車両のエコドライブの推進

電力使用量の削減に取り組み、二酸化炭素の排出量を削減

3. 資源の有効利用と資源循環型社会への責任と貢献

ゼロエミッション（一般・産業廃棄物の削減）の推進

グリーン製品の購入拡大、推進

大量の木材を利用する住宅メーカーとして、

森林認証材の採用と生物多様性に配慮した住環境の提唱

4. 会社全体の取組み

全社員に「環境理念」「基本方針」を周知徹底し、生物多様性の重要性の認識に努める。

環境経営レポート等環境情報の外部公表

緑化等の社会貢献活動に積極的に取り組む

5. 遵 法

環境関連法規並びに条例等を遵守します

制定日 2012年 8月20日

改定日 2018年 8月20日

改定日 2019年 8月20日



株式会社 公文建設
代表取締役 公文 伸也

3-1. SDGs 未来への約束

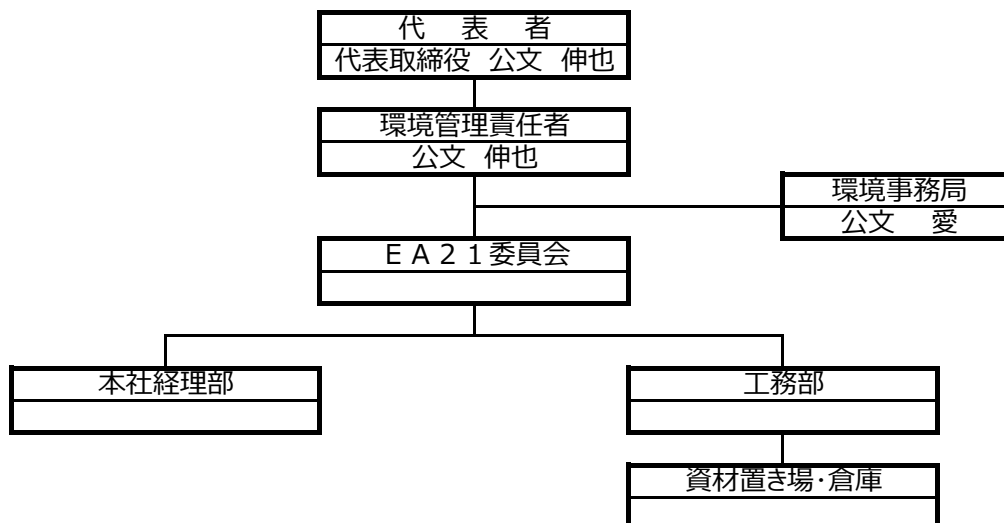
- 私たちは男女を問わず多様な人たちが共に活躍できる社会を目指します。
- 私たちは事業活動を通して、持続可能な社会の実現に努めます。
- 私たちはエコアクション21等の環境への取り組みを通して環境負荷の低減に努めます。
- 私たちは生物多様性の保全のための取り組みを行います。
- 私たちはパートナーシップ協定やボランティア活動を通じて地域・社会貢献に取り組めます。



3-2. SDGs の取り組み

テーマ	取り組み	関連するSDGs
男女を問わず多様な人たちが共に活躍できる社会	働き方改革、女性の活躍、ワークライフバランスの推進、高齢者・障害者雇用	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう
事業活動を通して、持続可能な社会の実現	- 環境負荷の少ない建築用資材の優先購入 - 高気密高断熱のエコ住宅の設計施工 - 省エネ住宅の設計施工 - 住環境のバリアフリーへの取り組み	3 すべての人に健康と福祉を 6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう
エコアクション21等の環境への取り組みを通して環境負荷の低減	エコアクション21	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 16 平和と公正をすべての人に
生物多様性の保全のための取り組み	- 高知県産木材、森林認証材の利活用 - 生物多様性に配慮した緑化住宅の提案、施工	4 質の高い教育をみんなに 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう
パートナーシップ協定やボランティア活動を通して地域・社会貢献に取り組む	- 安芸ロードボランティア清掃活動 - 障害者福祉施設共同作業所「ホップあき」事業活動への協力 - 非営利活動法人「環境の杜こうち」の寄付協力	6 安全な水とトイレを世界中に 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさも守ろう 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう

4. 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境経営責任者の任命 ・経営における課題とチャンス ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標・環境経営計画を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を確認 ・環境経営目標・環境経営計画を確認 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境活動の実績集計 ・環境経営レポートの作成
部門長 (工事現場責任者)	・部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・工事現場におけるE A 2 1の実施 ・工事現場に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・工事現場における環境負荷低減活動の実施及び緊急事態対応
本社経理部	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加

5. 環境経営目標

(1) 単年度目標

	基準値 2012～2016の実績 平均値	2023年度目標 2023.9-2024.8 基準値-3.0%
燃料使用量 (ℓ)	27,677	26,721
電力使用量 (kWh)	30,475	29,115
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	84,795	81,864
水使用量 (m ³)	47.0	46.0
一般廃棄物排出量 (t)	0.9	0.8
産業廃棄物排出量 (t)	115.0	110.0
産業廃棄物再資源化率 (%)	96.7	99.0
グリーン購入量 (%)	62.0	87.5
環境負荷の少ない工事 (新築工事)件数 (件)	3	8

※2019年版エコアクションより、2012年から2016年の実績の平均値を基準値として、基準値の見直しをしている。

* 1. 電力のCO₂ 排出量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数

(平成29年12月21日公表)の四国電力の実排出係数0.510 (kg-CO₂/kWh)を使用した。)

* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合 (%)

○エコマーク表示商品の優先購入

○環境負荷の少ない建築材(合板型枠等の木材、エコセメント、再生素材など)の優先使用

* 3. 生物多様性に配慮した環境負荷の少ない工事

○高知県産木材の使用(地産地消の推進)

○二重サッシ、天井・床下・壁等への断熱材の利用、高気密高断熱のエコ住宅の設計・施工

○太陽光発電住宅、エコキュート採用等の省エネ住宅の設計・施工

○生物多様性に配慮した緑化住宅の提案

(2) 中長期目標

	基準値 2012～2016の実績 平均値	2020年度 2020.9～2021.8 目標	2021年度 2021.9～2022.8 目標	2022年度 2022.9～2023.8 目標	2023年度 2023.9～2024.8 目標
燃料使用量 (ℓ)	27,677	27,123	26,985	26,858	26,721
電力使用量 (kWh)	30,475	29,852	29,713	29,412	29,115
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	84,795	83,105	82,689	82,275	81,864
水使用量 (m ³)	47.0	46.0	46.0	46.0	46.0
一般廃棄物排出量 (t)	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8
産業廃棄物排出量 (t)	115.0	111.0	110.0	110.0	110.0
産業廃棄物再資源化率 (%)	96.7	99.0	99.0	99.0	99.0
グリーン購入量 (%)	62.0	85.0	85.0	87.5	87.5
環境負荷の少ない工事 (新築工事)件数 (件)	3	7	7	8	8

(3) 次期中長期目標 (2024年度～2027年度)

	基準値 2019～2023の実績 平均値	2024年度 2024.9～2025.8 目標	2025年度 2025.9～2026.8 目標	2026年度 2026.9～2027.8 目標	2027年度 2027.9～2028.8 目標
燃料使用量 (ℓ)	22,500	22,388	22,275	22,163	22,050
電力使用量 (kWh)	32,000	31,840	31,680	31,520	31,360
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	68,500	68,185	67,843	67,500	67,157
水使用量 (m ³)	46.0	46.0	46.0	46.0	46.0
一般廃棄物排出量 (t)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
産業廃棄物排出量 (t)	120.0	118.0	117.0	116.0	115.0
産業廃棄物再資源化率 (%)	96.7	97.0	98.0	98.0	99.0
環境負荷の少ない工事 (新築工事)件数 (件)	4	4	4	5	5

※2024年版エコアクションより、2019年から2023年の実績の平均値を基準値として、基準値の見直しをしている。

- * 1. 電力のCO₂ 排出量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数
(令和6年8月29日公表)の四国電力の調整排出係数 0.454 (kg-CO₂ /kWh) を使用しています。)
- * 2. 2021/11/20 ガイドライン改訂により、グリーン購入が必須ではなくなり次期中長期目標項目からは除いていますが、自社としては引き続き
エコマーク表示商品の優先購入、環境負荷の少ない建築材 (合板型枠等の木材、エコセメント、再生素材など) の優先使用に努める。
- * 3. 生物多様性に配慮した環境負荷の少ない工事
 - 高知県産木材の使用 (地産地消の推進)
 - 二重サッシ、天井・床下・壁等への断熱材の利用、高気密高断熱のエコ住宅の設計・施工
 - 太陽光発電住宅、エコキュート採用等の省エネ住宅の設計・施工
 - 生物多様性に配慮した緑化住宅の提案

6. 環境経営計画

期間： 2023年 9月 ～ 2024年 8月

項 目		具体的な取組内容	部 署・担当者		期限
			事務所	工場・現場	
現場における重機・車両の使用によるCO ₂ 排出量削減		排出ガス対策型建設機械の使用推進		濱渦 康典	2024-08-31
		エコドライブの徹底	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
		車両の定期点検整備の実施	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
電気使用におけるCO ₂ 排出量削減		空調の適温化の徹底 (冷房設定28℃、暖房温度20℃)	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
		OA機器の不在時電源OFF	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
		部分的照明の使用	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
ゼロエミッションの推進	一般廃棄物排出量の削減	電子化による紙使用の低減	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
		裏紙への再利用（社内文書のみ）	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
		分別化の徹底	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
		再生紙の使用	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
	産業廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別の徹底	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
		余剰がなるべく出ないような資材の発注		濱渦 康典	2024-08-31
		産業廃棄物保管場所		濱渦 康典	2024-08-31
		マニフェスト伝票の管理の徹底		公文 伸也	2024-08-31
水使用量の削減		節水の表示（流し元、トイレ他）	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
		蛇口の閉め忘れ等の確認	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
グリーン購入		エコマーク表示商品の優先購入	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
		再生紙の使用	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
		環境負荷の少ない建築材（合板型枠等の木材、エコセメント、再生素材など）の使用		公文 伸也	2024-08-31
環境配慮資材・工事		排出ガス対策型建設機械の使用推進		公文 伸也	2024-08-31
		工事中の騒音や粉塵対策		濱渦 康典	2024-08-31
		有害物質を含んだ建材や資材の使用制限		濱渦 康典	2024-08-31
		再生資材等の優先使用		濱渦 康典	2024-08-31
生物多様性に配慮した提案		省エネ住宅の提案		公文 伸也	2024-08-31
		省エネ設備の提案		公文 伸也	2024-08-31
		緑化住宅の提案		公文 伸也	2024-08-31
		県産木材製品の使用・森林認証材の採用		公文 伸也	2024-08-31
社会貢献活動の推進		会社・現場周辺の清掃活動の実施	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
		地域の一斉清掃活動への参加・協力	公文 愛	濱渦 康典	2024-08-31
		地域障害者施設の廃品回収活動への協力	公文 愛		2024-08-31
		環境保全団体の事業活動への寄付協力	公文 愛		2024-08-31

7. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項 目	単位	基準値 2012～2016の実績 平均値	2023年度 目標 2023.9-2024.8	2023年度 実績 2023.9-2024.8	達成率 (%)	評価
燃料使用量	(ℓ)	27,677	26,721	22,009	82.4	○
電力使用量(購入)	(kWh)	30,475	29,115	32,644	112.1	×
C O ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	84,795	81,864	69,461	84.8	○
用水使用量	(m ³)	47.0	46.0	46.0	100.0	○
一般廃棄物排出量	(t)	0.9	0.8	0.9	112.5	△
産業廃棄物排出量	(t)	115.0	110.0	204.8	186.2	×
産業廃棄物 再資源化率	(%)	96.7	99.0	89.5	90.4	△
グリーン購入量	(%)	62.0	87.5	86.5	98.9	△
環境負荷の少ない 工事(新築工事)件数	(件)	3	8	3	37.5	×
◎ 達成率：達成率 = (実績値 / 目標値) × 100 (%)			※2019年版エコアクションより、2012年から2016年の実績の平均値を、基準値として、基準値の見直しをしている。			
◎ 評価：達成 ○、ほぼ達成、△、未達成 ×						

<環境経営目標達成評価>

○ 自動車燃料等について

燃料使用量は、2023年度目標値から4,712ℓの減となっているが、2022年度との比較では、2,023ℓの増、率で10.12%の増となっています。今期も昨年に引き続き遠距離での現場が多い中、日常活動のアイドリングストップや相乗りの推進・点検整備といった「エコドライブ」が浸透していると考えており、目標を達成することが出来ました。

今後も遠距離の現場があるため、職員には相乗り、アイドリングストップ、急発進を控えエコドライブに努めることを徹底していきます。

○ 電力使用量について

購入電力のC O₂ 排出係数は、平成29年12月21日公表の四国電力の実排出係数0.510 (kg-CO₂ / kWh) を使用した。電力使用量は、受注高・工事場所・工期等により、大きく変動する。2023年度は目標値から3,529KWh増となっている。2022年度と比較すると、木材加工場、事務所で1,992KWhの増、建築現場で447KWhの減となっています。2023年度事務所電気使用量が2022年度と比較して各月で約10%～20%増となっており、昨年と比較して12か月の中で9か月が昨年同月を上回っており特に12月の1.60倍が目立っている。工場木材加工電気使用量は、プレカット木材加工による製品が占める割合が高くなり、自社工場での木材加工運転時間が下がったことあり昨年度並となっています。熱中症対策に必要な冷房設備ではありますがこまめにチェックし引き続き省電力につながる事業展開を進めていきます。

○ C O₂ 排出量

2023年度目標値から12,403 Kg-CO₂の減、2022年度との比較では、5,847Kg-CO₂の増、率で9.2%の増となっております。化石燃料、電気使用量とも年度間で増加しておりCO₂の増となっています。化石燃料使用量は、遠距離による現場が多く、自動車燃料消費の拡大が懸念されますが、相乗り、アイドリングストップ、急発進を控えエコドライブに努める、電気使用量はこまめに節電するなど徹底することでCO₂削減に努めます。

○ ゼロMISSIONの推進 (リサイクル・廃棄物) について

ミスコピー紙の再利用、活用徹底等により、事務所内の用紙消費量の削減は出来つつある。更にペーパーレス化への取り組みを推進して廃棄物の削減に努める。昨年度と比較して産業廃棄物量が少なくなっている原因は、RC造り解体工事の終了によるものです。

(2022年7,8,9月の1期工事と2023年1,2,3月の2期工事の2期に渡り解体工事を実施したため、2022年度実績も産業廃棄物量が多くなっていた。)

通年、現場での廃棄物の排出量を抑制する努力を続ける必要があり、無駄な材料が出ないように計画的に搬入する。また分別収集を徹底し再資源化に取り組む、また再資源化が可能な資材の採用・調達に努めて、更なる目標の達成のための取組に努める。

○ グリーン購入について

(製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合 (%))

文具・建材等のグリーン購入、エコ商品を積極的に購入することが定着しています。今後も引き続きこの取り組みの向上を図っていく。

2021年にガイドライン改訂で、グリーン購入が必須ではなくなっており、2024年度目標項目からは除外します。

○ 環境負荷の少ない工事(新築工事) 件数

- ・高知県産材の使用 (3件に適用)
- ・二重サッシ、天井・床下・壁等への断熱材の利用、高気密高断熱住宅の設計・施工 (3件に適用)
- ・エコキュート採用等の省エネ住宅の設計・施工 (エコキュート等省エネ住宅・3件)
- ・緑化住宅の提案 (3件)

(2) 実績の推移

CO₂ 排出量の推移

項 目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	千万円	31.30	35.00	43.40	42.40	35.26
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	61.0	65.1	69.6	63.6	69.5
売上高千万円当りの CO ₂ 排出量原単位	t-CO ₂ /千万円	1.949	1.860	1.604	1.500	1.971
従業員数	人	15	15	15	15	15

電力の実排出係数は0.510(k g-CO₂/k Wh)。

(3) 過去の実績

項 目	単位	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績
燃料使用量	(ℓ)	18,807	20,439	22,393	19,986	22,009
電力使用量(購入)	(kWh)	31,501	31,723	31,586	31,099	32,644
C O ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	61,042	65,142	69,652	63,614	69,461
用水使用量	(m ³)	45.0	45.0	45.0	45.0	46.0
一般廃棄物排出量	(Kg)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
産業廃棄物排出量	(t)	51.6	88.9	1,527.7	1,739.1	204.8
産業廃棄物再資源化率	(%)	81.3	92.9	96.6	98.0	89.5
グリーン購入量	(%)	85.0	85.0	86.0	86.0	86.5
環境負荷の少ない工事 (新築工事)件数	(件)	6	7	3	4	3

8. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 2023年 9月 ～ 2024年 8月

項 目		具体的な取組内容	担当部署 担当責任者	取組結果	評価
現場における重機・車両の 使用によるCO ₂ 排出量削減		排出ガス対策型建設機械の使用推進	工務部門 濱渦 康典	現場にて使用を徹底されつつある	△
		エコドライブの徹底	工務部門 濱渦 康典	全車両に掲示され、実施されている	○
		車両の定期点検整備の実施	工務部門 濱渦 康典	毎週月曜日の始業前に点検を実施している 各車両の管理を社員に割り当てしている	○
電気使用における CO ₂ 排出量削減		空調の適温化の徹底 (冷房設定28℃、暖房温度20℃)	総務部門 公文 愛	温度設定を提示、徹底されている	○
		OA機器の不在時電源OFF	総務部門 公文 愛	PC設定により自動電源OFFするようにしている	○
		部分的照明の使用	総務部門 公文 愛	配線工事によりブロック毎に点灯するようにしている	○
ゼ ロ エ ミ ッ シ ョ ン の 推 進	一般廃棄物排出量 の削減	電子化による紙使用の低減	総務部門 公文 愛	社内システムを構築することで低減された	○
		裏紙への再利用（社内文書のみ）	総務部門 公文 愛	専用トレーを設置し徹底されている	○
		分別化の徹底	総務部門 公文 愛	ごみ箱を設置し徹底されている	○
		再生紙の使用	総務部門 公文 愛	今後、再生紙の購入を更に増加させる	○
	産業廃棄物排出量 の削減	廃棄物の分別の徹底	工務部門 濱渦 康典	各現場責任者により徹底され、パトロールにより確認している	○
		余剰がなるべく出ないような資材の発注	工務部門 濱渦 康典	各現場責任者により徹底され、上長が確認している	○
		産業廃棄物保管場所	工務部門 濱渦 康典	現場内での表示が徹底されている	○
		マニフェスト伝票の管理の徹底	工務部門 濱渦 康典	ファイリングし保管、県への報告書は提出されている	○
総排水量の削減		節水の表示（流し元、トイレ他）	総務部門 公文 愛	徹底されている	○
		蛇口の閉め忘れ等の確認	総務部門 公文 愛	徹底されている	○
グリーン購入		エコマーク表示商品の優先購入	総務部門 公文 愛	徹底されている	○
		再生紙の使用	総務部門 公文 愛	今後、再生紙の購入を更に増加させる	○
		環境負荷の少ない建築材（合板型枠等の木材 エコセメント、再生素材など）の使用	総務部門 公文 愛	各現場責任者により徹底され、上長が確認している	○
環境配慮資材・工事		排出ガス対策型建設機械の使用推進	工務部門 濱渦 康典	現場にて使用を徹底されつつある	△
		工事中の騒音や粉塵対策	工務部門 濱渦 康典	各現場責任者により徹底され、上長が確認している	○
		有害物質を含んだ建材や資材の使用制限	工務部門 濱渦 康典	対象資材についてはF☆☆☆☆又は同等の大臣 認定品の使用を徹底	○
		再生資材等の優先使用	工務部門 濱渦 康典	各現場責任者により徹底され、発注書等で確認 している	○
生物多様性に 配慮した提案		省エネ住宅の提案	設計 公文 伸也	省エネ住宅・設備の提案・管理をしている	○
		省エネ設備の提案	設計 公文 伸也	省エネ住宅・設備の提案・管理をしている	○
		緑化住宅の提案	設計 公文 伸也	緑化住宅の提案をしている	○
		県産木材製品の使用・森林認証材の採用	設計 公文 伸也	県産木材製品の積極的に使用 森林認証材の採用	○
社会貢献活動の推進		会社・現場周辺の清掃活動の実施	総務部門 公文 愛	実施済み	○
		地域の一斉清掃活動への参加・協力	総務部門 公文 愛	実施済み 平成10年から	○
		地域障害者施設の廃品回収活動への協力	総務部門 公文 愛	実施済み 平成10年から	○
		環境保全団体の事業活動への寄付協力	総務部門 公文 愛	実施済み 平成21年から	○

※評価については、○出来た、△改善の余地がある、×出来ていない（未実施）

○毎月の社内定例会議で各取組状況を把握して、年間の取組状況を評価した。

○総評 各項目の取組は徹底されつつあると思われる。社員の意識も年々向上しているのが判る。

ただそれが工事量の増加などにより結果として表れていないのが残念だが、諦めず継続して活動を行ってきたい。

○次年度の取組 次年度についても同じ取組内容にて行い、気付いた点があれば随時追加し、活動を行っていきます。

9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画（期間： 2024年 9月 ～ 2025年 8月）

次年度の環境経営目標は中長期目標に準ずる。環境経営計画は以下のとおりである。

項 目		具体的な取組内容	部 署・担当者		期限
			事務局	工場・現場	
現場における重機・車両の使用によるCO ₂ 排出量削減		排出ガス対策型建設機械の使用推進		濱渦 康典	2025/8/31
		エコドライブの徹底	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
		車両の定期点検整備の実施	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
電気使用におけるCO ₂ 排出量削減		空調の適温化の徹底 (冷房設定 28℃、暖房温度 20℃)	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
		OA機器の不在時電源OFF	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
		部分的照明の使用	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
ゼロエミッションの推進	一般廃棄物排出量の削減	電子化による紙使用の低減	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
		裏紙への再利用（社内文書のみ）	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
		分別化の徹底	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
		再生紙の使用	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
	産業廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別の徹底	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
		余剰がなるべく出ないような資材の発注		濱渦 康典	2025/8/31
		産業廃棄物保管場所		濱渦 康典	2025/8/31
		マニフェスト伝票の管理の徹底		公文 伸也	2025/8/31
総排水量の削減		節水の表示（流し元、トイレ他）	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
		蛇口の閉め忘れ等の確認	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
グリーン購入		エコマーク表示商品の優先購入	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
		再生紙の使用	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
		環境負荷の少ない建築材（合板型枠等の木材 エコセメント、再生素材など）の使用		公文 伸也	2025/8/31
環境配慮資材・工事		排出ガス対策型建設機械の使用推進		公文 伸也	2025/8/31
		工事中の騒音や粉塵対策		濱渦 康典	2025/8/31
		有害物質を含んだ建材や資材の使用制限		濱渦 康典	2025/8/31
		再生資材等の優先使用		濱渦 康典	2025/8/31
生物多様性に配慮した提案		省エネ住宅の提案		公文 伸也	2025/8/31
		省エネ設備の提案		公文 伸也	2025/8/31
		県産木材製品の使用・森林認証材の採用		公文 伸也	2025/8/31
		緑化住宅の提案		公文 伸也	2025/8/31
社会貢献活動の推進		会社・現場周辺の清掃活動の実施	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
		地域の一斉清掃活動への参加・協力	公文 愛	濱渦 康典	2025/8/31
		地域障害者施設の廃品回収活動への協力	公文 愛		2025/8/31
		環境保全団体の事業活動への寄付協力	公文 愛		2025/8/31

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法令等の名称	適用される要求事項	遵守状況
環境基本法	事業者の責務 煤煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害防止、自然環境の保全に必要な処置を講ずる。製品の使用又は廃棄による環境への負荷の低減に努める。	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	遵守
	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	遵守
	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	遵守
	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事への提出	遵守
	多量排出事業者における産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画書及び実施状況報告書 県知事への報告	遵守
騒音規制法	特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	遵守
振動規制法	特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	遵守
資源の有効な利用の促進に関する法律 (資源有効利用促進法)	事業者の責務（再生資源の有効利用等） 土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	遵守
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	事業者の責務 建設資材廃棄物の抑制、再資源化による資材の利用	遵守
建築基準法	石綿含有建材使用の禁止 内装仕上げ材、換気設備の適正使用	遵守
労働安全衛生法	事業者の責務 労働者の労働災害防止のための安全確保	遵守
大気汚染防止法（石綿飛散防止対策） 石綿障害予防規則(第3条) 石綿障害予防規則(第5条)	アスベストの使用の有無事前調査・結果の記録 建築物解体作業届（工事開始前まで）	遵守
		遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンなどの機器廃棄時に、フロン類(フロンガス)の回収を確実に行う。	遵守
高知県環境基本条例	事業者の責務 環境への負荷の低減	遵守
高知県自然環境保全条例	事業者の責務 環境への負荷の低減	遵守
安芸市の環境関連条例	特別に制定されてなく、県の条例に準ずる 環境への負荷の低減 市への届け出	遵守

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年9月より2024年8月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。過去3年間、違反訴訟及び外部からの苦情・要望等はありません。

1 1 . 代表者による全体評価と見直し・指示

日 付 令和6年9月30日

代表者 公文 伸也

項目	評価・見直し	見直し・指示の結果
環境マネジメントシステム	環境経営方針の見直し 無し 環境経営目標の見直し 無し 環境経営計画の見直し 無し 実施体制の見直し 無し	今後も継続する 現在のまま継続する 現在のまま継続する 現時点で、当社のエコアクション 2 1 は、有効に機能しており、環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画及び実施体制の変更の必要性はない。
環境パフォーマンス評価	2023年度においては、燃料使用量 目標値26,721 ℓ に対して、実績では22,009 ℓ と目標を達成しているが、2022年度と比較すると2,023 ℓ 増加している。 電力使用量 目標値29,115KW h に対して実績では32,644KW h と目標を3,529KW h 超過しており、2022年度と比較すると1,545KW h の増加となっています。 CO2排出量 目標値81,864kg-CO2に対して実績では69,461kg-CO2と目標を達成しているが、2022年度と比較すると5,847kg-CO2の増加となっています。 水使用量、一般廃棄物排出量は、毎年度と同じで変化はほとんどない。 産業廃棄物排出量では、2021年度、2022年度に請負ったRC造りの排出実績からすると大幅な減となっているが、目標値を94.8 t 超過している。 グリーン購入ではほぼ昨年並みで大きな変化はない。 環境負荷の少ない工事（新築工事）件数では、目標の8件に対して実績は3件となっています。 以上のことから環境負荷削減のための各項目の数値目標に対し達成している項目、未達成の項目があるが、燃料使用量の削減によるCO2削減効果が高く評価できると思われる。 近年、新築工事現場が高速道路の普及により高知市を中心に移行しており、燃料使用量の増によりCO₂の増加につながる傾向にあるが、異常気象の発生による各地での被害を目の当たりにすることで、社員個々の環境負荷軽減に対する意識の高揚により、削減努力、工夫を重ねて環境負荷削減に取り組んでおります。 今後も引き続き「環境に配慮した住まいづくり」を推進し、事業活動を実施します。	